

NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



密になる

記念写真も

マスクして

(キョエ)

コロナ危機

横文字ばかりで

あたま危機

(R・S)

(帰ったらちゃんと手を洗うよ) 丶(^o^)/

コロナ川柳

- あなたも作ってみませんか

令和2年度 通常総会（5/27） 書面表決に

理事長 伊藤 敏寛

令和2年度の通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面表決による開催と致しました。全国的な非常事態宣言により、イベントの開催は自粛が要請され、当法人も例年の通常総会と違った形態で行い、懇親会は中止させていただきました。

何よりもいのち・健康を守ることを中心において考え行動しているところでありますので、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

書面表決の結果は、以下の通りです。（令和2年5月27日 午後5時30分基準）

正会員数 35 名 書面表決者 26 名
(74.3%)

すべての議案において全員賛成となり、定款変更議案も含めて承認されました。尚、定款変更の議案は、書面表決者の4分の3以上の多数による表決が条件です。

議案は第1号～第5号で、内容は令和1年度事業報告、事業活動決算及び監査報告、また定款一部改正について、令和2年度事業計画案、事業活動予算案についてです。

この内、定款一部変更についてご説明します。内容は以下の通りです。

改正前（一口年会費）		→	改正後（一口年会費）	
正会員	5,000 円		正会員	3,000 円
賛助会員	3,000 円		賛助会員	1,000 円

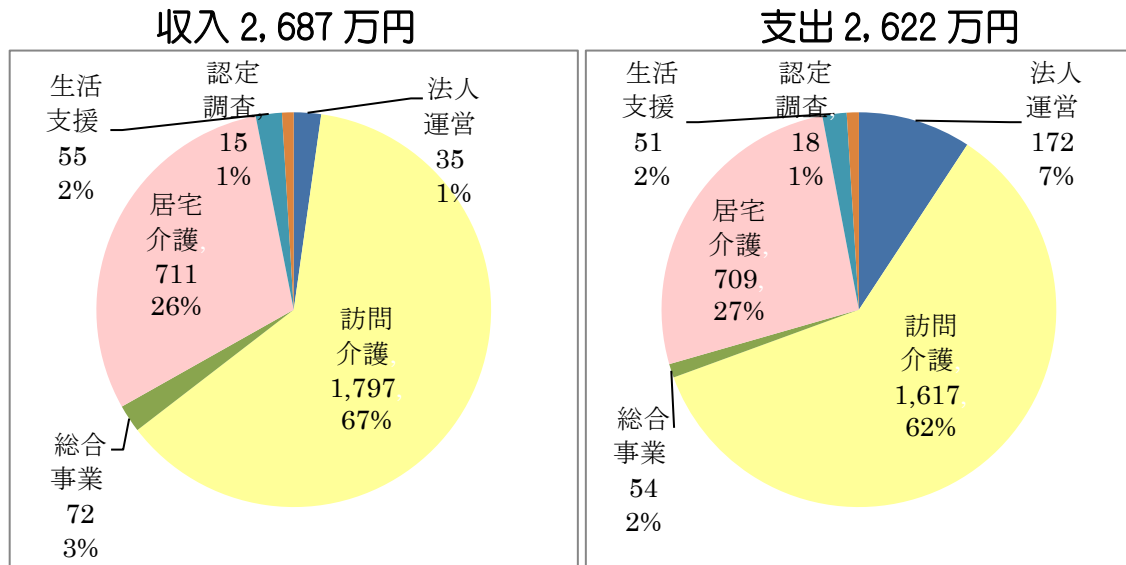
会費は入会金と異なり、毎年納付をお願いするものです。理事会において当法人の賛同者の裾野も広げていくためにも、「会費を引き下げ」て、当法人の活性化を図るべきではないか、その時期に来ているのではないかとこのことで検討をしてみいました。そして、今回の通常総会において会費変更の提案に至りました。

当法人の理念である「**安心して住み続けられるまちをつくりたい！**」という設立の原点に改めて戻って考えてまいります。

広く地域の皆様と会報等を通じて接することで、皆様の声を直接お聞かせいただくことが大事と考えます。更には、会員、利用者だけではなく、広く住民の方が参集できる場、企画の開催も検討していきたいと思っております。



I 令和元年度 決算状況



税引前 当期財産増 64 万円 (税引後 57 万円)

II 令和元年度 活動の概要

1. 法人運営事業

会員数は会員の脱退により 2 名の減少となりました。賛助会員は増加したものの収入は減少となりました。

○会員・賛助会員の数 (単位: 名)

	30 年度	元年度	増 減
会 員	37	35	△2
賛助会員	61	67	7

○会費の状況 (単位: 千円)

	30 年度	元年度	増 減
会 員	195	195	0
賛助会員	147	132	△15

○委員会等活動

広報委員会では、元年度においても、3 回の会報を発行しました。

ボランティア委員会では、庭木の剪定の増加や、草刈り墓地清掃、及び障子張りも多くなっています。

然しながら、大口の剪定他が減少し、収入は減少しました。高齢化の加速により、依頼が増えるものと予想されます。

令和 2 年 1 月 29 日(水)に、えびすやフードセンターさんにて新春交歓会を開催し、30 名の方の参加をいただきました。

2. 訪問介護事業

介護職員の体制では、4 月に 1 名の増加がありました。

平均利用者数は前年度比 2 名増加しましたが、稼働時間としては前年度より減少しました。結果として、収入は、若干の減少になりました。

○利用者の状況 (単位: 千円)

	30 年度	元年度	増 減
利用者数	30	32	2
利用回数	5,955	5,768	△187
収 入	18,123	17,974	△148

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

総合事業は、平均利用者が1名増加し、利用回数も大幅に増加しました。その結果、収入も増加しました。

○利用者の状況 (単位:千円)

	30年度	元年度	増減
利用者数	2	3	1
利用回数	155	238	83
収入	447	722	274

4. 居宅介護支援事業

居宅介護支援事業の体制は、前年度の常勤1名・非常勤1名に加えて、6月に1名の非常勤と新規契約しました。

然しながら、3人の資格更新等の研修が重なったことから、利用者が減少することになりました。その結果、経常収入は若干の減少となりました。

次年度についても、本年度と同じ勤務体制・勤務条件となる予定です。

○利用者の状況 (単位:千円)

	30年度	元年度	増減
利用者数	639	600	△39
作成件数	639	600	△39
収入	7,489	7,115	△373

5. 支援活動事業

高齢者世帯や障がい者等に、会員を含む有償ボランティアにより、除草、清掃、墓地清掃、障子貼り等の生活支援を実施しました。

有償ボランティアの数は、新規の登録者もありましたが、担い手の高齢化もあり、ボランティアを卒業される傾向にあり、登録者は前年より大幅に減少しました。

また、毎日のようにサービスを提供

していた方が死去されたことや、大口の剪定が減少したことから、サービス提供の延べ作業時間は大幅に減少しました。

新年度も利用者の増加は見込まれますが、有償ボランティアの確保が課題です。

○利用状況(元年度)

利用者数		ボランティア	
実人数	利用回数	実人数	作業時間
28	103	19	454

○利用状況(30年度)

利用者数		ボランティア	
実人数	利用回数	実人数	作業時間
28	101	21	638

6. 認定調査事業

2市1町から業務委託を受けた介護認定調査です。認定調査については、3名中2名が担当する計画で、現状水準での事業展開を予定しています。

○受託市町及び受託件数(30年度)

福島市	川俣町	会津若松市	計
38	12	1	51

○受託市町及び受託件数(29年度)

福島市	川俣町	二本松市	計
36	22	1	59



みんなの広場



— コ ロ ナ に 向 き 合 っ て —

“最後の砦”と言われ

ヘルパーの仕事は、“最後の砦”と言われ、他の福祉事業所が閉鎖になっても利用者様と向き合い、支えていかなければならない仕事です。

幸い、当事業所での感染はありませんが、見えないウイルスの存在にピリピリした雰囲気を持ちながら、ヘルパー訪問をしています。

「密を避ける」と言われても、ヘルパーの仕事は、オムツ交換・入浴介助・食事介助等…。利用者様との密着を避ける事は難しい仕事です。

利用者様とヘルパー自身の身を守る為にも、これからも当たり前の事ですが、検温・手洗い・マスクの徹底を行い、日頃の体調管理をしっかり行ないながら支援にあたりたいと思います。

また、新型コロナウイルスの存在ばかりに気を取られるのでは無く、これからは熱中症等、利用者様の心身の状態をしっかり把握し、支援していかなければならないと思っています。

<ヘルパー管理者 菅野 三三子>



待ってくださることに感謝

私たちケアマネジャーは、毎月ご利用者様のお宅に、最低でも月1回は訪問をして、面接をさせて頂いています。ウイルスを運ばないように、検温や消毒・マスクの着用は徹底して行なっています。

入院中のご利用者様の事で連絡があれば病院にも行くため、福島市内や二本松市などで感染者が出ていた時期は、特に緊張感を持ちながら業務を行なっていました。

訪問では「利用を控えれば心身のレベルが低下してしまう。他の方たちはどうですか？」など、不安を感じながら利用をされている方たちの声がありました。ご自分の家なのにマスクをして待ってくださるご家庭もあり、申し訳ないと思いながら、受け入れてくださっていることに感謝しながら面接をさせて頂いています。

もう少し不自由な時期は続きそうですが、大切な事を見失わずに、お一人お一人の生き方に寄り添っていきたいと思っています。

<ケアマネジャー管理者

宇佐見 芳子>

<安心して住み続けられるまち リレートーク その9 >



配食サービスと私

毎週1回金曜日に希望される方に有料（半額は社協等の補助金で負担）で夕食用弁当をお届けしています。私は事務局を担当して今年で丸10年になります。配達ボランティアさんは約60名で6週に1回位、交代でご協力いただいています。

当番の前日にご連絡いたしますと「大丈夫だよ！ご苦労様」と返事をいただくとうれしくなります。配達当日「皆（弁当利用者さん）元気だったよ！」と報告いただくとホッと安心し、無事お届けいただいたことに感謝します。

また、集金ボランティアさん（民生委員など10名の方）には2か月に1回、“手作りの配達カレンダー”をお届けし代金を集金していただいています。利用者さんの近



況等を伺いながら弁当の評判等も聞いていただいています。「おいしいよ！」「来月もお願いします」と報告いただくと来月もお届けできることをうれしく思います。

配達・集金ボランティアの皆様、おいしい弁当を納入いただいている業者の方々に感謝し、元気をいただいている毎日です。

<ふれあいの会事務局

阿部 和子>



生活支援ボランティア・
ホームヘルパー募集！

NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一言

コロナ禍の中、ノーベル文学賞も受賞した作家カミュの「ペスト」が書店に平積みになっている。小生も読んでみた。時代は変わっても、その時代ごとにふさわしい読みを許容する幅の広さを感じる。地震のような天災や放射線の恐怖も、経済偏重の現代社会を襲う災厄も・・・。